

9 回意地の新城選手・代打小川選手連打で完封を免れる

勝てば決勝進出の大事な試合、対東京ガス戦は相手が一枚上手な戦いになった。

先行明治安田は簡単に三者凡退に退けられた。その裏明治安田の三宮投手は先頭打者に左中間スタンドへ持っていかれた。その後もヒット・四球で1死2塁・1塁からセンタ前に追加点を献上。5回までに8安打3四球とランナーを出すも追加点を与えず頑張っていたが6回に2死ランナーなしから1番・2番打者にレフト前に連打3番にライト場外にダメ押しの3ランを浴び試合を決定づけてしまった。

2番手玉熊投手も7回内野安打と2つのワイルドピッチ・犠牲フライで6点目を献上。8回から黒萩投手が3番で登板2安打許すも零点に抑えた。

打撃陣は8回まで3安打に抑えられいいとこなし、最終回先頭打者1番新城選手がレフト線へ2塁打続く2番代打小川選手がライト線意地のタイムリーで完封を免れた。

スタンドから感じたことは今日の試合は負けるときの悪いパターン選手に迫力が感じられず、試合が進行していた。9回の新城選手・小川選手の果敢な攻撃が前半に見られたら展開も変わっていたかもしれない。決勝進出ならず誠に残念試合だった。

試合とは別なことで恐縮ですが明治安田の応援観客はエール交換時ほとんどの方が立ち姿ではなく座ったままの姿勢、恥ずかしい限りです。相手チームの応援席は起立してエール交換の声と拍手で応援していた。

随時都市対抗出場しているチームは応援マナーも素晴らしい。

2018年5月22日

土田 唯雄

チャーリーダ

一



9回2塁打の新城選手



9回代打小川選手ライトへタイムリー

